

1. 支援テーマ
テーマ：経営課題の明確化と課題解決に向けたIT戦略の立案
2. 支援先企業の企業概要
<p>会社名：株式会社 中田水産 所在地：愛媛県愛媛県西宇和郡伊方町川永田536-1 代表者：代表取締役社長 中田 明浩 業種と業種構成：その他魚類養殖業、漁業 従業員数：役員4名 職員14名</p>
3. 支援依頼の背景
<p>同社は、西宇和郡伊方町を拠点に、しらす漁を中心とした海面漁業（獲る漁業）、養殖業（育てる漁業）及びちりめんの加工・販売を行っている。売上高、経常利益は堅調に推移しているものの、同社の事務処理はすべて手作業によるものとなっており、担当者への依存度が大きく、今後の業務拡大に向けて、ITを活用した業務の標準化と効率化の必要性を強く感じられていた。また、養殖の分野に関しては、稚魚購入から出荷に至る管理全般を社長自身が行っており、ノウハウの共有は全く行えておらず、育成管理・原価管理なども十分には行えていない状況であった。このような状況下で、同社が課題と感じていた業務（販売管理、経理、養殖）のシステム検討に対する支援依頼を受けた。</p>
4. 支援内容
<p>当初の依頼は、「業務系のシステム検討支援」であったが、経営課題との関連性が明確になっていなかったため、全社的な視点での「経営課題の明確化」から開始し、経営課題の解決に向けたIT戦略の立案までを支援した。この戦略情報化企画は、同社の社長が中心となって、社員とのミーティングを繰り返しながら策定された。</p> <p>実際の支援手順としては「経営コンセプトの明確化」、「現在の事業ドメイン確認」、「SWOT分析」、「新事業ドメインの設定」、「重点経営課題の明確化」を行い、「『鮮度が良く、子供たちが安心して食べられる安全な水産品』を自然の摂理に沿った方法で生産し、食に対する本物志向をもった消費者に提供することで、社員の生活向上と水産業の発展に貢献する。』を事業価値に掲げて、『1. 組織力の強化』、『2. 商品価値の向上』、『3. 営業体制の確立』の3点を重点経営課題と位置付けた。</p>
5. 同社のIT戦略
<p>導き出された重点経営課題と、同社が設定した情報化の目的及び情報化の現状分析結果に基づいて設定したIT戦略(重点情報化テーマ)は、『1. 基幹業務システムの構築』、『2. 養殖管理のシステム化』、『3. 情報収集・発信の仕組みづくり』の3点であり、同社のITに関する成熟度を勘案して、各々の戦略実現に向けた「情報化の概要」、「実行計画」を具体的に整理した。</p> <p>現在、実行計画に沿って、「ITインフラの整備」、「基幹系（販売管理・経理）システムの構築」、「養殖管理システムの検討」や「自社ホームページの立上げ」を開始している。</p>
6. お客様の声
<p>今回の企画策定を通じて、我社の良い点、悪い点が明確にわかり、また、どう対応していくべきかを鮮明にすることができ、大変ありがたく感謝しております。その中でも、社員一人一人の意識が変わり、今までの少数精鋭の組織に団結力が加わり、会社に勢いを感じます。</p> <p>ただ、現時点は、やっとスタートラインに立った所です。この企画書を絵に書いた餅ではなく、確実に成し遂げるよう社員一同努力していきたいと考えております。</p>